

# 令和元年裾野市議会 9 月定例会 予 算 決 算 委 員 会

9 月 4 日 (水) 予算決算委員会	.....	2
9 月 13 日 (金) 予算決算委員会	.....	4
10 月 8 日 (火) 予算決算委員会	.....	12

- 委員長（賀茂博美） ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。はじめに、「認定第1号から認定第9号、第56号議案、第57号議案について」を議題といたします。

先の本会議において当委員会に付託となりました、認定第1号 平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定について。認定第2号 平成30年度裾野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第3号 平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第4号 平成30年度裾野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第5号 平成30年度裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第6号 平成30年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第7号 平成30年度裾野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第8号 平成30年度裾野市水道事業会計決算の認定について。認定第9号 平成30年度裾野市下水道事業会計決算の認定について。第56号議案 平成30年度裾野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。第57号議案 平成30年度裾野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。の11件について、お配りしております「予算決算委員会付託一覧表」のとおり、総務分科会、厚生文教分科会、産業建設分科会を設置し、審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。よって、本議案11件の審査は、「予算決算委員会付託一覧表」のとおり行うことに決定いたしました。各分科会の審査は、総務分科会は9月27日、30日、10月1日午前9時から。厚生文教分科会は、9月17日、19日、20日午前9時から。産業建設分科会は、9月24日、25日、26日午前9時から行っていただきますようお願いいたします。各分科会での審査に当たっては、質疑の後、討論・採決は行わず、意見等がある場合は、それを述べていただくことにとどまりますので、よろしくようお願いいたします。また、各分科会の現地視察は、9月10日午後1時30分から行っていただきますようお願いいたします。
- 委員長（土屋秀明） 次に、「第72号議案から第76号議案について」を議題といたします。先の本会議において当委員会に付託となりました、第72号議案 令和元年度裾野市一般会計補正予算（第3回）。第73号議案 令和元

年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）。第74号議案令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第2回）、第75号議案 令和元年度裾野市水道事業会計補正予算（第1回）。第76号議案 令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算（第1回）。の5件について、お配りしております「各常任委員会付託一覧表」のとおり、総務分科会、厚生文教分科会、産業建設分科会を設置し、審査いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。よって本議案5件の審査は、「各常任委員会付託一覧表」のとおり行うことで決定いたしました。各分科会の審査は、総務分科会は、9月9日午前9時から。厚生文教分科会は、9月5日午前9時から。産業建設分科会は、9月6日午前9時から行っていただきますようお願いいたします。各分科会での審査に当たっては、質疑の後、討論・採決は行わず、意見等がある場合は、それを述べていただくことにとどまりますので、よろしくようお願いいたします。
- 委員長（賀茂博美） 以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。これをもって、予算決算委員会を閉会いたします。

11時02分 閉会

13 時 24 分 開会

○委員長（賀茂博美） ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。本日の会議は、先の本会議において本委員会に付託となりました議案についての審査を行います。なお、付託されました議案は、9月4日開催の当委員会において分科会を設置し、それぞれ審査をいただきました。第72号議案から第76号議案について を議題といたします。はじめに第72号議案令和元年度裾野市一般会計補正予算（第3回）の内の関係部分について、総務分科会における審査の報告を求めます。総務分科会委員長。

○総務分科会委員長（中村純也） 総務分科会委員長報告をいたします。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、総務分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る9月9日、委員7名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただき、以下、概要について報告いたします。

「第72号議案 令和元年度 裾野市一般会計 補正予算（第3回）」のうちの関係部分について報告いたします。

○総務部関係です。主な質疑は、  
財政課では、

【質疑】 法人市民税の減額分の対応として、1億3千9百万円余の財政調整基金の取り崩しによる今後の財政影響への対応は。またその他不足する分の対応は。

【答弁】 今年度は、財政調整基金の他、特例交付金など歳入の中で対応するが、来年以降は中期財政計画を策定する中で全体で調整したい。

税務課では、

【質疑】 法人市民税の減額要因についてどのように分析しているか。

【答弁】 景気とともに堅調に推移すると想定していた企業業績であったが、申告を確認する限り想定を下回った。また大手企業の従業員数の異動により按分額が下回り減額となったとみている。

その他、行政課の繰入金、人事課の賃金等に関する審査を行いました。

○企画部関係です。主な質疑は

企画政策課では、御宿土地区画整理事業への負担金・補助金の債務負担行為について

【質疑】 債務負担行為の額の算出根拠は。

【答弁】 負担金・補助金については土地区画整理事業助成要綱適用の申し出があり応じたもので、負担金については不動産鑑定に基づく鑑定価格に、道路予定地面積を CAD 求積したものを掛けて算出した。補助金も要綱に則り算出しており、街路舗装分と水道管布設費用を算定し、その3分の1を対象とした。双方とも事業者が提示した額と公共単価による積算額を比較、安価であった事業者提示の額を基礎額とし補助金を算出した。

【質疑】 道路用地取得部分について、土地区画整理事業における減歩分や既存接道拡幅分も含まれているか。

【答弁】 どちらも含まれている。

○環境市民部関係です。主な質疑は生活環境課では、最終処分場浸出水処理施設維持補修工事費について

【質疑】 故障原因となった円盤部摩耗のメーカー保障はあるか。また直近点検における状態はどうであったか。

【答弁】 施設自体は約30年経過しているものであり対象部分に対する補償はない。また点検は毎年実施しており特に問題なかった。これまでも5年に1度更新しており、来年が更新時期であった。

【質疑】 更新時期の前倒しという形で対応するという考えで良いか。

【答弁】 代替え品での対応も限界であるため、更新時期の前倒し対応として計上した。

その他、市民課のコミュニティ助成事業に関する審査を行いました。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認いたしましたが、特に意見はありませんでした。

以上が第72号議案のうちの関係部分の審査概要報告であります。

以上が、総務分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、総務分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 総務分科会委員長の報告は終わりました。次に第72号議案令和元年度裾野市一般会計補正予算（第3回）のうちの関係部分、第73号議案令和元年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）、第74号議案令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第1回）について、厚生文教分科会における審査の報告を求めます。厚生分科会委員長。

○厚生分科会委員長（杉山茂規） 厚生文教分科会委員長報告をいたします。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、厚生文教分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたし

ます。分科会は去る9月5日、委員6名出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略をさせていただき、以下、概要についてご報告申し上げます。

「第72号議案 令和元年度 裾野市一般会計補正予算（第3回）」のうちの関係部分についてご報告いたします。

はじめに、教育部関係です。学校教育課・教育総務課・生涯学習課では、

【質疑】 静岡茶愛飲推進事業において銘柄や業者の選定などの考えは。

【答弁】 昨年度は市内業者が落札した。近隣東部市町産の茶葉を使用してもらえよう仕様書に記す予定だが、入札になるため金額面で考えていくことになる。

【質疑】 小学校就学援助費の前倒し支給などの内訳は。また、人数把握についてはどうか。

【答弁】 新小学一年生分として50,600円×30人分と、当初予算で計上済みの50人分に対し1万円を上乗せして同額とするもの。人数は前年度実績に基づき算出している。

【質疑】 SOMP Oボールゲームフェスタ事業委託内容や参加の人数は。また当初でなくこのタイミングで補正する理由は。

【答弁】 運営の人員補助として12人分と看護師の委託や消耗品で、前回（平成29年度）を参考に算出した。参加人数として、午前は親子40組、午後は100人程度を想定している。タイミングについては、年度が改まってから誘致に成功したため、今回の補正となった。

などの質疑がありました。

次に健康福祉部関係です。社会福祉課・子育て支援課・保育課では、

【質疑】 プレミアム付き商品券にかかる委託先について箇所数や算出根拠は。

【答弁】 チケットの販売は6か所、使用済みチケットの換金は7箇所を予定している。当初より対象者が800人増え、チケットの販売や換金の手数料も増えた分がこの額。

【質疑】 ファミリーサポートセンター利用助成事業における限度額や、保育2号認定者の利用が限度額を超えた際の取り扱いは。

【答弁】 限度額は37,000円で、ファミリーサポートセンター以外にも認可外保育所などでの利用も想定できる。利用者は1ヶ月分の領収書をもとに合算した額で償還の手続きをしてもらうこととなり、オーバー分は対象とならない。

【質疑】 10月1日からの保育料無償化で、市の負担はどれくらい増えるのか。また、住民税非課税世帯などの特殊なケースを除いた中で、今回対象

にならない対象は。

【答弁】 今後半年で 3,500 万円程度増える予定。認可外保育所を利用の場合、対象年齢でも保育が必要である認定を受けていない児童は無償とならない。

【質疑】 給食費を市負担で負担するなどをしてしない理由は。

【答弁】 保護者に負担してもらって給食費を減額する場合、一般財源の投入が必要となる。公立で行う場合、公平を保つ上で私立でも行う必要がある。また、昼食は幼稚園では保護者が弁当で負担し、保育園のみ公費負担を行うことは幼稚園との間でも不均衡となる。今回については、実費負担という整理の上で公費投入が馴染まない内容であり、国の標準に合わせるため行わない。

などの質疑がありました。

また、国保年金課では、

「第 72 号議案 令和元年度 裾野市一般会計補正予算（第 3 回）」のうちの関係部分、

「第 73 号議案 令和元年度 裾野市国民健康保険 特別会計補正予算（第 2 回）」を併せて審議を行いました。

【質疑】 基金への積立金を 1 億円としているが、その額の決定方法は。また、積立金として予定する額は。

【答弁】 繰越額から療養給付費等を差し引いて積立額を決定している。条例では上限額を定めておらず、国保運営協議会で協議をしながら決めて行くが、3～5 年の納付金平均値の約半分である約 7 億円を考えている。

介護保険課では、

「第 72 号議案 令和元年度 裾野市一般会計補正予算（第 3 回）」のうちの関係部分、

「第 74 号議案 令和元年度 裾野市介護保険 特別会計補正予算（第 2 回）」を併せて審議を行いました。

【質疑】 地域介護・福祉空間整備推進交付金での具体的内容は。

【答弁】 以前からあった補助金で、過去に施設での火災があつてから創設されたものでスプリンクラーの設置などに使われていた。今回、市内事業所に案内を行い、非常用発電機の整備に使いたいと応募があつた。対象となる施設はグループホームなど入所施設となる。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認したところ、第 72 号議案に対し、保育の無償化に関連して反対の意見がありました。

以上が第 72 号議案のうちの関係部分、第 73 号議案、第 74 号議案の審査概要報告であります。

以上が、厚生文教分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、厚生文教分科会委員長報告といたします。

- 委員長（賀茂博美） 次に第 72 号議案令和元年度裾野市一般会計補正予算（第 3 回）のうちの関係部分、第 75 号議案令和元年度裾野市水道事業会計補正予算（第 1 回）、第 76 号議案令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算（第 1 回）について、産業建設分科会における審査の報告を求めます。産業建設分科会委員長。
- 産業建設分科会委員長（井出悟） 産業建設分科会委員長報告をいたします。過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、産業建設分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る 9 月 6 日、委員 6 名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただきます、以下、概要について報告いたします。

はじめに「第 72 号議案 令和元年度 裾野市一般会計補正予算（第 3 回）」のうちの関係部分について報告いたします。

環境市民部関係では、上下水道経営課の審査を、建設部関係では、建設管理課、建設課、まちづくり課の審査を、産業部関係では、産業振興課、演習場対策室の審査を行いました。主な審査内容を報告します。

建設部関係では、

- 【質疑】 特定防衛施設道路整備事業費が、協議が整わない事による委託料の減額とのことだが、次年度の実施の見込みは。
- 【答弁】 協議者が地元権利者、国道管理者、公安委員会などであるが、現時点で具体的見込みを申し上げる状況にない。
- 【質疑】 平松深良線街路事業費の公有財産購入費、補償、補填および賠償金の減額に関わる用地取得状況の状況は。
- 【答弁】 滝頭工区の複数箇所、用地交渉に不測の期間が掛かっている。残りの取得率は 14%となっている。

産業部関係では、

- 【質疑】 演習場対策推進助成費の負担金、補助金及び交付金の増額は、第 12 次演習場使用協定にかかる会議出席の為の費用弁償とのことだが、規定や要綱の準用状況は。
- 【答弁】 5 年に 1 回の演習場使用協定の年であるが、費用弁償のための要綱の整備が十分ではないことは認識している。今後整備を行う。
- 【質疑】 企業誘致費の増額は何か社分か。



【答弁】 1社分で、建物812万1千円、償却資産13万5千円。

などの質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

つぎに「第75号議案 令和元年度 裾野市水道事業会計補正予算（第1回）」について報告いたします。

環境市民部関係の、上下水道経営課の審査を行いました。主な審査内容を報告します。

【質疑】 投資有価証券購入費で県債を購入する理由は。

【答弁】 運用基準の中で条件の一番良い物を選択した。20年物で金利0.2%、途中解約可能で収益見込みは年60万円ほどを想定している。

【質疑】 職員1名減の詳細と対応状況は。

【答弁】 技師1名の減となっている。採用が少ない状況だが、現有職員の底上げで対処している。

などの質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

つぎに「第76号議案 令和元年度 裾野市下水道事業会計補正予算（第1回）」について報告いたします。

委員より人件費の内訳についての質疑があり、質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が、産業建設分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。審査にご協力賜りました皆様へ感謝を申し上げ、産業建設分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 産業建設分科会委員長の報告は終わりました。これより本5議案について、分科会委員長報告に関する質疑、討論、採決を行います。

はじめに第72号議案令和元年度裾野市一般会計補正予算（第3回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論は在りませんか。8番、岩井委員。

○委員（岩井良枝） 72号議案幼児教育保育の無償化に関するところで反対の意見があります。

○委員長（賀茂博美） 他にありませんか。16番岡本委員。

○委員（岡本和枝） 私は72号議案の中の御宿土地区画整理事業費負担金、1億6千万円について、この債務負担行為についての補正に反対の意見があります。委員会の審議の中の意見は述べなかったんですけど、その後色々な部分で考える中で反対と言うことで、意見を。もっと中身を言いたいのですがそれは本会議でということ。

○委員長（賀茂博美） 他にありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから起立により採決いたします。第72号議案令和元年度裾野市一般会計補正予算（第3回）を、原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者 起立）

○委員長（賀茂博美） 起立多数と認めます。したがって本案は可決すべきも野と決定いたしました。

次に第73号議案令和元年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論は在りませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決致します。第73号議案令和元年度裾野市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に第74号議案令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第2回）について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論は在りませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決致します。第74号議案令和元年度裾野市介護保険特別会計補正予算（第2回）を、原案のと

おり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に第75号議案令和元年度裾野市水道事業会計補正予算(第1回)について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論は在りませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決致します。第75号議案令和元年度裾野市水道事業会計補正予算(第1回)を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に第76号議案令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算(第1回)について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論は在りませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決致します。第76号議案令和元年度裾野市下水道事業会計補正予算(第1回)を、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で本委員会に付託された議案に係る本日の審査はすべて終了いたしました。来る9月18日の本会議で委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます。本委員会を閉会いたします。

13時47分 閉会

○委員長(賀茂博美) ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。本日の会議は、先の本会議において本委員会に付託となりました議案についての審査を行います。なお、付託されました議案は、9月4日開催の当委員会において分科会を設置し、それぞれ審査をいただきました。認定第1号から認定第9号、第56号議案、第57号議案についてを議題といたします。はじめに、認定第1号平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定についての内の関係部分、認定第5号平成30年度裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について。認定第7号平成30年度裾野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について。総務分科会における審査の報告を求めます。総務分科会委員長。

○総務分科会委員長(中村純也) それでは予算決算委員会総務分科会委員長報告をいたします。

過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、総務分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る9月10日の現地視察及び9月27日、30日、10月1日に、委員7名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただき、以下、概要について報告いたします。

はじめに、「認定第1号平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定について」のうちの関係部分について報告いたします。

総務部関係の、財政課、税務課、人事課、行政課、検査監の審査での主な内容を報告します。

#### 財政課

【質疑】 将来負担比率が増加傾向にあるが、その要因は何か。また比率を下げるためにどのような議論がなされたか。

【答弁】 算出式において、分子に当たる財政調整基金や将来充当が見込まれる充当可能財源の数値の減少が主たる要因と考える。対応について、行財政構造改革の取り組みの目的にもあるが、財政調整基金の取り崩し等を抑制し、残高を確保する取り組みが改善につながると考えている。

#### 行政課

【質疑】 公用車の私的利用防止のための取り組みは。また車両台数縮減に向けた取り組みは行ったか。

【答弁】公用車の利用に際し、公用車運用記録簿の改正を行い、使用状況のチェック監視強化により再発を防止している。また、集中管理車両以外の車両 12 台をシェアリングできるよう変更し、全体車両の効率運用に向けて検討をしている。

次に企画部関係の、秘書課、企画政策課、戦略広報課の審査での主な内容を報告します。

#### 企画政策課

【質疑】データ利活用エキスパート認定の 22 名の職員はどのように選任したのか。また今後の拡大計画はあるのか。

【答弁】特に限定せず様々な課の職員が認定を受けている。今後も増やす予定でおり、各課に一人は、知識を持った人材がいるようにしたいと考えている。

#### 戦略広報課

【質疑】記者会見を増やす議論はあったか。また報道への情報提供は、情報発信のツールとして大いに活用できるものであり、回数を増やすことは効果的だと考えるが担当課としての考えは。

【答弁】平成 30 年度に記者会見の回数を増やす議論はなかったが、回数増が情報発信効果につながるという考えは同じであり、他市町の状況等情報収集に努めたい。

次に、議会事務局、監査委員事務局、出納課、行政経営監の審査の主な内容を報告します。

#### 監査委員事務局

【質疑】決算審査の意見書の指摘について、各課の対応状況は報告されているか。また指摘に対してどのように管理しているか。

【答弁】決算審査で要望意見として挙げたものは、全課で実施する定期監査時に別途資料にて改善状況を提出してもらっている。また改善が確認できない場合は、定期監査の意見書に記載し、再度改善を促し、次回も継続確認できる仕組みとしている。

#### 行政経営監

【質疑】遊休地・借地の見直しを進める部署は総務部と考えて良いか。また、行政改革推進委員会からの意見書に対し、行政経営監はどのような関わり方をしているのか。

【答弁】遊休地・借地の見直し推進は、現時点では行政経営監の所管として実施している。受け取った意見書には計画を作成した上で推進するように記載があり、その計画策定を今年度行政経営監所管として対応しているが、個別の推進は所管課が対応することになると考えている。

環境市民部関係の、深良・富岡・須山の3支所、市民課、危機管理課、生活環境課、美化センターの審査での主な内容を報告します。

#### 支所

【質疑】各区長会視察研修が年度末に実施されているが、視察での学びをどのように取り扱っているか。また単年度で区長が交代する区が多いが次年度への学びの引き継ぎはできているのか。

【答弁】参加できなかった区長もいるが共有した。(富岡支所では)研修での学びを市長にも表敬し報告した。また研修内容は直接、または事務局として次年度区長へ直接引き継いでいる。

#### 美化センター

【質疑】落雷により設備などの被害は、全て建物損害保険金で賄えたのか。また、落雷に対する予防保全対策はできているのか。

【答弁】落雷により要した設備修繕工事は全て保険で賄えた。また落雷対応としてコンピュータなど早めに設備の電源を落とすなど対応する徹底した。なお新たな避雷針の設置など設備的な予防対策は、周辺環境の影響や効果の有効性も考慮し実施していない。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しました。委員から、行財政構造改革の議論における方向性、またその説明は一方的で市民の意見を聞く対応がなかった点に疑義があり、反対である旨の意見がありました。

また行政改革では、行財政構造改革を推進する傍で、当局の改善等による数字での効果が示されなければ事業認可する根拠が薄く、報告内容の見直しが必要である旨の意見がありました。

以上が認定第1号の審査概要報告であります。

次に「認定第5号 平成30年度 裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について」の審査内容を報告いたします。

【質疑】土地開発基金における土地について、処分の可能性はあるか。

【答弁】平松深良線公文名工区の代替地を目的としているが、供用開始後の状況を見ながら売却等も視野に入れ今後検討したい。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が認定第5号の審査概要報告であります。

次に「認定第7号 平成30年度 裾野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について」の主な審査内容を報告いたします。

【質疑】平成 30 年度末の販売残数 13 区画の状況を踏まえ、4～5号墓域の整備について検討はあったか。また6～9号墓域のあり方について議論はあったか。

【答弁】4～5号墓域の整備費について概算し、平成 31 年度への予算要求を行なった。また6号～9号墓域についても常に議論しており、墓地として造成して販売するという当初の計画のまま進めることが良いのかも含め検討している。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

以上が認定第 7 号の審査概要報告であります。

以上が、総務分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。

また、すべての審査終了後、自由討議を行いました。その概要を報告いたします。

#### 【決算における報告、審査の視点について】

- ・総合計画の目標設定に課題が指摘されている状況であるが、そもそもその計画の目標に対する取り組み姿勢に積極性を感じることができなかった。
- ・事業と効果と言う視点で運営方針や進捗管理状況も踏まえ、説明や審査を実施することが望ましい。
- ・予算執行実績及び主要事務事業を中心として事業の報告及び質疑がなされる傾向にあるが、本来は総合計画に掲げる目的に対し、施策や事業がどう効果を挙げたか、款項の執行は適正であったかといった視点での審査が必要である。といった発言がありました。

#### 【ファシリティマネジメントや行政改革への取り組みについて】

- ・行政改革を推進する部署審査では、推進する行政改革等の取り組みからどのような効果が得られているか、全体を鳥瞰する視点での答弁が得られなかったことは残念である。
- ・行財政構造改革で削減や減額を進めているが、少なくとも自分たちが内部で実施した取り組みに対する効果金額は調書に記載することは当たり前として必要あると感じた。また市民サービスに対する事業の小さな削減等重ねているが、下水道事業のように大きな事業についてもメスを入れる必要がある。
- ・公共施設のあり方などは、所管する部署が主導するとのことであるが、それがなかなか進まないため設置された部署であることも踏まえると、もっと積極的な関与を期待したい。といった発言がありました。

#### 【市営墓地、美化センターについて】

- ・事業の推進や施設更新について、計画の進捗も踏まえ議論が必要である。議

会として政策討論を行なっていくことも一つではないか。といった発言がありました。

以上が自由討議の内容です。

審査にご協力賜りました皆様へ感謝を申し上げ、総務分科会委員長報告といたします。

- 委員長（賀茂博美） 総務分科会委員長の報告は終わりました。次に、認定第1号 平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定について、認定第2号 平成30年度裾野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第3号 平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第4号 平成30年度裾野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、厚生文教分科会における審査の報告を求めます。厚生文教分科会委員長。
- 厚生文教分科会委員長（杉山茂規） それでは予算決算委員会厚生文教分科会委員長報告をいたします。

過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、厚生文教分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要をご報告いたします。分科会は去る9月10日の現地視察及び9月17日、19日、20日に、委員6名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求めて、慎重な審査を行いました。詳細な審査内容につきましては、会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略をさせていただき、以下、概要についてご報告申し上げます。

「認定第1号 平成30年度 裾野市一般会計 歳入歳出決算の認定について」のうちの関係部分の主な質疑についてご報告いたします。

はじめに、教育部関係です。

教育総務課・学校給食センター・学校教育課・生涯学習課・鈴木図書館では、

【質疑】 西中学校の普通教室不足に対応するための設計業務の成果物は、今後仮設校舎を建築するという考え方においても、工事に対応が出来るものか。

【答弁】 今後予定している仮設校舎の増設については、既存校舎との接合部分など基本設計時の意図が踏襲されているため、生かせる部分もあると考えている。

【質疑】 学校給食における給食員の不足について、年度末まで不足状態が続いたのか。また、民間委託についての意見などは出ているか。

【答弁】 給食員の欠員分については派遣職員3人により充足した。民間委託については意見として出ているという状況となっている。

【質疑】 学校の教員数が減ったことによる影響や、今後の充実に向けた考え方については。



【答弁】 静東教育事務所が小中学校の訪問をした際に、他市町と比較して非常に落ち着いているとの評価であったが、減ったことによる何かしらの影響はあると認識している。単純に人数を元に戻すことは現実的ではないため、今の学校の課題に沿うような形で活用、あるいは職を切り替えるなどの対応を考えている。

【質疑】 富士山資料館の管理費について、行政改革の中で向こう3年間の中で資料館の休止などの検討をするとあったが、具体的な検討は。また、これから先の判断は何をもってするのか。

【答弁】 平成30年度は具体と言えるほどの検討には至っていない。休止をしないの判断は、課で関係団体の意見を取りまとめて、庁内調整のうえ行う。

【質疑】 鈴木図書館の蔵書能力や開架で置いている本の冊数は。また、今後の蔵書数増にどのように対応していくか。

【答弁】 建設当時の図書館蔵書能力が17万1,000冊であり、1階開架部分が6万1,000冊なので、この位が置かれていると思われる。今後、対応について検討していく。

などの質疑がありました。

次に健康福祉部関係です。

子育て支援課・保育課・社会福祉課・健康推進課・障がい福祉課では、

【質疑】 北児童館が指定管理に移り、各種の行事等の取り組みも増えているが、利用者の評価は。

【答弁】 モニタリングやアンケート調査を2回実施し、9割の方が良いと評価している。改善項目についてはかなり努力をしてもらっている。

【質疑】 保育所の待機児童は平成29年度の10月1日時点で20人から平成30年度では7人へと減少しているが、減少した要因は。

【答弁】 御宿台保育園が指定管理となったことで、職員が公立へ移動したことや、指定管理者での職員採用の影響によるもの。

【質疑】 生活困窮者自立支援での就労相談から実際に就労に結び付いた事例はあるか。また、平成30年度の取り組みは。

【答弁】 4人の相談者を就労に結び付けた。就労に結び付けた方には定期的な連絡を入れ、かつ継続的なフォローをしている。

【質疑】 ゲートキーパー養成講座を毎年やっている中、スキルアップ研修が入っているが内容は。また、効果はでているか。

【答弁】 現在ゲートキーパーとして活躍されている方々のスキルアップのため、グループワーク等を実施している。スキルアップ研修を希望する人が非常に多く、底上げにつながっていると考えている。

【質疑】障がい者の一般就労希望者に対しての就労支援では、何人が就労に結び付いたのか。その後のフォローについてはどうなっているか。

【答弁】5人が就労に結び付いた。過去に就労した方々が多く入会しているカラマの会へと入会を勧める事や、その後もフォローを続けている。カラマの会に入会の方は就労が継続している。

などの質疑がありました。

また、国保年金課では、

「認定第1号 平成30年度 裾野市一般会計 歳入歳出決算の認定について」のうちの関係部分、

「認定第2号 平成30年度 裾野市 国民健康保険特別会計 歳入歳出決算の認定について」、「認定第3号 平成30年度 裾野市 後期高齢者医療事業特別会計 歳入歳出決算の認定について」を併せて審議を行いました。主な質疑は、

【質疑】人間ドック、脳ドックへの補助金の額は。人間ドック受診者が6人と少ない理由は。

【答弁】ドック費用のうち7割を補助している。脳ドックでは、7割を計算した時に、限度額3万円を超えるので上限まで補助している。少ない理由は人間ドックの対象を30歳から39歳としているためで、それ以降は特定健診を受けて頂くようにしている。

などの質疑がありました。

介護保険課では、

「認定第1号 平成30年度 裾野市一般会計 歳入歳出決算の認定について」のうちの関係部分、

「認定第4号 平成30年度 裾野市介護保険特別会計 歳入歳出決算の認定について」を併せて審議を行いました。主な質疑は、

【質疑】認知症の総合支援事業で新たに取組んだ事業は。またその効果は。

【答弁】認知症総合支援事業の中の初期集中支援推進事業として、認知症を専門とする医師や保健師、包括支援センター、行政などによる初期集中支援チームを2チーム設立できた。平成30年度は1件のケースがあり解決に結び付いた。

などの質疑がありました。

各課の質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認したところ、いずれの審査でも意見はありませんでした。

以上が認定第1号のうちの関係部分、認定第2号、認定第3号、認定第4号の審査概要報告であります。

以上が、厚生文教分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。審査終了後、分科会委員間で自由討議を行いました。ご報告申し上げますと

ともに、関係各課においてはご検討をお願いします。

- ・ 不用額について、額だけでは繰り越しをしている事業の内容などがわからない。繰越をしている予算の事業名と金額の記載が必要。
- ・ 地域活動へと繋げる戦略的な仕組みが必要。(各種養成講座などへの参加者や、その団体操作成に関わった婦人会での経験者など。)
- ・ 総合計画での指標に対し、現在がどのような状況かが分かりにくかった。
- ・ 包括支援センターでの件数カウントの基準の統一などを含め、担当課は先方に任せてあるというスタンスでなく、連携が深まるように関わっていくことが必要。
- ・ 調書の文字が小さく読み取りにくい箇所がある。ページを分けるなど大きくしてほしい。

以上、審査にご協力いただきました皆様に感謝を申し上げまして、厚生文教分科会委員長報告といたします。

○委員長（賀茂博美） 厚生文教分科会委員長の報告は終わりました。次に認定第1号 平成30年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定についての内の関係部分、認定第6号 平成30年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第8号 平成30年度裾野市水道事業会計決算の認定について、認定第9号 平成30年度裾野市下水道事業会計決算の認定について、第56号議案 平成30年度裾野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、第57号議案 平成30年度裾野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、産業建設分科会における審査の報告を求めます。産業建設分科会委員長。

○産業建設分科会委員長（井出悟） それでは予算決算委員会産業建設分科会委員長報告をいたします。

過日の本会議において、予算決算委員会に付託となりました議案のうち、産業建設分科会に割り振られた事項について、審査の経過概要を報告いたします。分科会は去る9月10日の現地視察及び9月24日、25日、26日に、委員6名全員出席のもと開会し、担当部課長等の出席を求め審査を行いました。詳細な審査内容は会議録を正確にまとめ、保存いたしますので省略させていただきます。概要を報告いたします。

はじめに「認定第1号 平成30年度 裾野市一般会計 歳入歳出決算の認定について」のうちの関係部分に対する主な審査内容を報告します。

環境市民部関係では

【質疑】平成30年度から下水道事業の公営企業法の適用によって、一般会計からの繰出は投資及び出資金と繰出金に分かれているが、内訳やその考え方は。

【答弁】資本的収入の繰出金を負担金にするか出資金にするか繰入金にするかというのはいろいろ自治体によって方法が違うが、財政課と協議した結果、消費税等の節税効果がある、出資金で繰り入れることに決定した。

などの質疑・答弁がありました。

建設部関係では

【質疑】道路維持修繕などの随意契約は、集約して入札にかけるなどの契約はできないのか。

【答弁】破損あるいは機能回復を早期に図らなければならないものであり、第三者被害防止のためからも入札での対応は難しい。

などの他、道路維持修繕の地区要望に対する状況、国・県などへの要望活動の状況、橋梁に対する早期措置率の状況、市道設計の市職員対応による効果、地籍調査の進捗、通学路整備の対応状況、崖地近接危険住宅移転事業の状況、TOUKA I-O事業の状況、深良地区のまちづくりの状況、公園管理業務における光熱水費の取り扱い状況、市営住宅の長寿命化計画に対する取り組み状況、駅西土地区画整理事業の進捗などに対し、質疑・答弁がありました。

産業部関係では

【質疑】例年調査している耕作放棄地の傾向について、どのように受けとめられているか。

【答弁】耕作放棄地は解消している部分もあるが、一方で再発生をしている部分ある。全体としては、残念ながら減ってはいない、あるいは増えている傾向と認識している。

などの他、屋上緑化推進事業の技術的完成度に対する状況、森林組合への補助金の状況、薬用作物（ミシマサイコ）の栽培評価の状況、梅の里整備事業に対する状況、演習場使用に伴う地域住民の負担軽減のための事業等に対する考え方、有害鳥獣の被害状況、すその夏まつりの経済波及効果、企業誘致の取り組み状況、工場立地適地調査業務委託の結果、産業連携プラットフォームの取り組み状況、借地解消の取り組み状況、東京2020オリンピック・パラリンピックの情報発信の状況などに対し質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について確認をしたところ、分科外委員より駅西区画整理事業について、残りの事業期間に対する商店街の活性化影響に対し疑義があり認定できないとの意見がありました。

つぎに「認定第6号 平成30年度 裾野市十里木高原簡易水道 特別会計歳入歳出決算の認定について」に対する主な審査内容を報告いたします。

【質疑】有収率は通常、80%から90%が目線と考えるが、20.68%となると、汲み上げた水のおよそ80%近くが流出していることとなる。流出により

失われている費用の概算は。

【答弁】動力費 2,200 万円の中に含まれている。

などの他、管理業務委託費の内訳、漏水調査業務委託の内訳、民家の漏水部分対応方針などに対し質疑・答弁がありました。

質疑終了後、賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

つぎに「認定第 8 号 平成 30 年度 裾野市水道事業会計 決算の認定について」ならびに「第 56 号議案 平成 30 年度 裾野市水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について」に対する主な審査内容を報告いたします。

【質疑】過年度未収金の収納率が平成 29 年度に比べて 3.84 ポイント改善、現年度収納状況も平成 29 年度に比べて 0.04 ポイント改善している。収納対策の詳細は。

【答弁】未払いの方に対し、2 回未払いになった段階で給水停止の予告状を出している。給水停止の予告状により大体が払っていただけている状況である。一部払っていただけない方がいるが、その件数が減少している。

【質疑】30 年度に 13 の企業債の繰上償還をしているが、選んだ理由と繰上償還による将来の利益見込みは。

【答弁】地方公共団体金融機構借入分は全て償還した。2,000 万円ほどの利子の減額が見込める。

などの他、水道ビジョンをもとにした修繕状況、緊急対応時の訓練の取り組み状況、BCP の取り組み状況などに対し質疑・答弁がありました。

質疑終了後、認定第 8 号ならびに第 56 号議案の賛否に関する意見の有無について委員に確認しましたが、意見はありませんでした。

つぎに「認定第 9 号 平成 30 年度 裾野市下水道事業会計 決算の認定について」ならびに「第 57 号議案 平成 30 年度 裾野市下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について」について報告いたします。

【質疑】第 4 次総合計画の重点プログラムとして、公共下水道に接続していただくための啓発活動を挙げているが、目標に対する達成状況は。

【答弁】毎年 2 月頃に既に供用開始が可能な地域で、まだ接続されていないお宅に対し職員が訪問やポスティングを行っており、啓発に努めている。数値的には達成できていないが、ただ目標達成に向けて毎年 400 件以上回る努力はさせていただいている。

などの他、資本金収入の出資金、営業外収益の他会計負担金などに対し質疑・答弁がありました。

質疑終了後、認定第 9 号ならびに第 57 号議案の賛否に関し、委員より財務

体質に対し疑義があり認定できないとの意見がありました。

全ての審査終了後に自由討論を行いましたので、その概要について報告します。

全体的に随意契約が多く、審査の中で詳細を確認する場面が多かった。「予算執行実績及び主要事務事業調書」の建設課（例：P269）では、備考欄を活用して随意契約の必要性が示されており、円滑な審査に資する情報が盛り込まれている。このような表記内容を全庁的に横展開して頂くことを要望する。

また、複数年度の継続事業については、全体計画量、決算年度実績量、積算実績量（積算実績量÷全体計画量＝進捗率）の情報を盛り込まれると、円滑な審査に資するとの意見がありました。

以上が、産業建設分科会に割り振られた事項の審査の経過概要であります。審査にご協力賜りました皆様へ感謝を申し上げ、産業建設分科会委員長報告といたします

- 委員長（賀茂博美） 産業建設分科会委員長の報告は終わりました。これより、本 11 議案について、分科会委員長報告に関する質疑、討論、採決を行います。

はじめに、認定第 1 号平成 30 年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については、本会議で願います。討論はありますか。16 番、岡本和枝委員。

- 委員（岡本和枝） 総務委員会及び産業建設委員会に関する意見は報告のとおりです。それに加えて民間活力の導入ということで指定管理者等の導入がされてますが、30 年度の決算の中で公費負担で事業者が利益を受けている。で、それはそういう利益を受けなければ民間が来るわけがないというような論議の中でこのまま指定管理者制度全て反対ではありませんが、保育とか福祉とかの部分でこの導入し続けることに反対をさせていただきます。

- 委員長（賀茂博美） 他にありませんか。

（「なし」の声あり。）

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから起立により採決いたします。認定第 1 号平成 30 年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者：起立）

- 委員長（賀茂博美） 起立多数と認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。次に、認定第 2 号平成 30 年度裾野市

国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第2号平成30年度裾野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてを、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) したがって、本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第3号平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第3号平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第3号平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認

定第3号平成30年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第5号平成30年度裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありますか。

(「なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第5号平成30年度裾野市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第6号平成30年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありますか。

(「なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第6号平成30年度裾野市十里木高原簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第7号平成30年度裾野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」の声あり。)

○委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。



す。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第7号平成30年度裾野市墓地道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第8号平成30年度裾野市水道事業会計決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） 討論を終わります。ただいまから採決いたします。認定第8号平成30年度裾野市水道事業会計決算の認定について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、認定第9号平成30年度裾野市下水道事業会計決算の認定について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長（賀茂博美） 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。17番、小林俊委員。

- 委員（小林俊） この認定は出来ません。下水道事業はずっと赤字を垂れ流していて、改善をしようと言う計画がないんですね。平成30年度に企業会計に移行してもそのままやっていこうとしている。これはこのままではまずい。これは議会がしっかりと方向を変えるように動かなければならないと思います。

- 委員長（賀茂博美） 他にありませんか。6番、村田悠委員。

- 委員（村田悠） 認定第9号については反対の立場で討論させていただきます。

- 委員長（賀茂博美） 他にありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから起立により採決いたします。認定第9号平成30年度裾野市下水道事業会計決算の認定についてを、原案のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者、「起立」)

- 委員長(賀茂博美) 起立多数と認めます。したがって本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

次に、第56号議案平成30年度裾野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから採決いたします。第56号議案平成30年度裾野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、を原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) ご異議なしと認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第57号議案平成30年度裾野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、分科会委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 以上で質疑を終わります。ただいまから討論に入ります。発言される方におかれましては、討論の詳細については本会議でお願いいたします。討論はありませんか。16番、小林俊委員。

- 委員(小林俊) 決算の方を認定出来ないと言ったんで、これも一応反対であります。

- 委員長(賀茂博美) 他にありませんか。

(「なし」の声あり。)

- 委員長(賀茂博美) 討論を終わります。ただいまから起立により採決いたします。第57号議案平成30年度裾野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを、原案のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者、「起立」)

○委員長（賀茂博美） 起立多数と認めます。したがって本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で本委員会に付託された議案に係る審査は、全て終了いたしました。

来る10月9日の本会議で委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます、本委員会を閉会いたします。

14時08分 閉会